

科 目 名	解剖学実習Ⅱ（人体解剖）【理学・作業】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	長 島 聖 司 他						
開 講 年 次	2	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	(心得) 先ず、ご遺体に感謝の念を持つこと。ご遺体は自分の死後医学の発展のために無条件・無報酬で自ら解剖を申し出られて献体された方々である。ご遺体の遺された志を忘れてはならない。また解剖学実習ができることは佐賀大学医学部のご好意と、多くの病院や社会福祉関係の協力があって初めて可能なことであることも忘れてはならない。						
授 業 の 到 達 目 標	実際の人体を用いた解剖標本を見学して実習を行う。1年次に学習した人体の構造と各器官の連関について直接人体を観察することを通して把握し、自ら解剖所見を系統たて理解する。 ・座学で学んだ人体の構造と各器官を実物で確認できる。 ・各器官の形態と構造および位置と位置関係を理解する。 ・各器官の機能を洞察する。						
学 習 方 法							
テキスト及 び参考書等	参考図書) 長島聖司・宮内亮輔訳、「解剖実習テキスト」、文光堂。 実習の具体的な内容は別途指示する。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎				50	
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎				30	
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他	◎	◎				20	
	口頭試問						
合 計						100	
(表中の記号 ◎評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	人体解剖学実習：くびと体幹の浅層						
第 2 週	人体解剖学実習：腕神経叢						
第 3 週	人体解剖学実習：上肢						
第 4 週	人体解剖学実習：上肢						
第 5 週	人体解剖学実習：上肢						
第 6 週	人体解剖学実習：上肢						
第 7 週	人体解剖学実習：内臓						
第 8 週	人体解剖学実習：内臓						
第 9 週	人体解剖学実習：内臓						
第 10 週	人体解剖学実習：下肢						
第 11 週	人体解剖学実習：下肢						
第 12 週	人体解剖学実習：下肢						
第 13 週	人体解剖学実習（まとめ）						
第 14 週	人体解剖学実習（まとめ）						
第 15 週	人体解剖学実習（まとめ）						
第 16 週							
備 考							